

# このえ 九重の風



No. 1

一般社団法人 九州動物福祉協会  
福岡県福岡市中央区渡辺通 5-2-25 7F

## 『平成29年7月九州北部豪雨』 被災動物の受入れを開始



本年7月5日から6日にかけて朝倉市周辺を襲った集中豪雨災害を受けて「福岡県災害時ペット救護本部」が立ち上げられ7月14日に第1回会議が福岡県庁にて行われました。各自治体や関係団体も出席するなか、「九州災害時動物救援センター(以下「当センター」)も本部の一員として参加し、被災動物の受入先として正式に本部からの要請を受けました。すでに発災直後から福岡県獣医師会に所属する動物病院ではボランティアにて被災動物の一時預かりを実施し20頭を超える動物を保護していましたが、被災した飼い主の中には生活再建への目処が立たず預かりが長期化するケースも出てきたため、飼い主が当センターへの移送を希望されるペットの受入れを開始しました。VMAT(災害派遣獣医療チーム)の協力のもと、7月23日に小型犬1頭、同30日に大型犬1頭の移送を実施。2頭ともに10歳を超える老犬のため、ストレスがかからないよう移送には細心の注意を払いましたが、到着後の健康診断も無事にクリア。早速ドッグランでの引き運動など元気な様子を見せてくれました。

今後も仮設住宅での環境などによっては、飼育が困難なペットの飼い主が当センターへの預け入れを希望することが予想されるため、本部や獣医師会との情報共有を図りながら万全の準備を進めています。



移送に立合うVMAT隊員

### ご挨拶

九州動物福祉協会  
理事長 日名子 泰通



平素より当協会の活動へのご理解と多大なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。昨年の熊本地震を受け、急遽前倒しにて被災動物の受入れを開始した「九州災害時動物救援センター(大分県九重町)」ですが、事故無く1年が経過し飼主への返還が少しずつ進められている折、7月5日から6日にかけて朝倉市周辺が記録的な集中豪雨に襲われました。謹んで犠牲者の方々へのご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた多くの皆様にお見舞い申し上げます。被災地ではわずか数時間のうちに多くの集落が土砂に覆われ一瞬にして日常が奪われてしまうなか、福岡県ではペット救護本部が速やかに立ち上げられ当センターも被災動物の受入れを受諾し、すでに受入を実施しております。

昨今の異常気象や地震の活動期を迎えている状況においては、常に大規模災害への備えをしておく必要性を再確認するとともに、日本初となる「常設ペットシェルター」として当センターが果たすべき役割の大きさを改めて感じる事となりました。まもなく第二期工事も終え、さらなる収容力を持ったシェルターとして、ペットと暮らす飼い主の皆様がいざという時の安心を与えられるよう尽力してまいります。今後とも「九州災害時救援センター」へのより一層のご支援の輪を拡げて頂きますことを切にお願い申し上げます。



犬の健康状態を確認する船津副センター長(VMAT隊長)

## 福岡市から高校生がボランティア研修に来所!

沖学園高等学校レスキュークラブ (7/27~30)



かねてより当センターでの研修を計画していた学校法人沖学園高等学校(福岡市)のレスキュークラブが夏休みを利用して三泊四日のボランティア研修に訪れました。顧問を務めるウィリアム・スチュアート先生引率のもと12名の男子部員が被災動物の世話はもちろん

環境整備に汗を流してくれました。

被災地でのボランティア活動の基本は「いかに被災地に負担をかけずに支援ができるか」です。自分の身の回りのことは自分で責任を持つということは、特にふだん家庭で保護者に世話をしてもらっている高校生にとって厳しくも大切な経験となったことでしょう。当センターとしても13名の助っ人の登場により日頃手が足りずできなかった作業に着手できたことは大いに助かりました。今後も災害ボラン

ティアの志を持つ若者が増えることを願い、積極的に人材育成に貢献してまいります。沖学園高等学校レスキュー部の皆さんありがとうございました!



【写真】(左上)スタッフの指示に真剣に耳を傾ける(右上)センター内を散歩(左下)花壇の整備も手伝ってもらいました(右下)視察に訪れた蔵内日本獣医師会長と

## 熊本地震からの生活再建への取り組み 家族の絆を繋ぐ「九重バスツアー」



熊本地震から15ヶ月が過ぎ被災地では少しずつ生活再建が進んでいます。当センターの犬や猫たちも徐々に飼い主の元へ還っていくことは喜ばしくもあり、また寂しくもあります。預かりが長期化するに従いペットと家族の絆が薄まることを防ぐため、当センターでは熊本地震ペット救護本部と協力し「九重バスツアー」を企画。飼い主やボラン

ティア希望者などを対象として、昨年の秋から計4回開催しています。毎回多くの参加者がペットとの絆を再確認するとともに、スタッフとの交流の場として、またバスの道中では適正飼養の啓蒙などを行い災害の時にも困らない飼い主を目指し、とても有意義な企画となりました。



『九州ペットキャンプ』について

九州災害時動物救援センターの活動に親しみを感じてもらうため、九重の山々を眺める犬と猫のロゴを作成し、被災した動物が日々楽しく過ごす様子を表現した愛称を「九州ペットキャンプ」としました。

【被災動物収容状況】※7月末現在

「熊本地震」 犬 26・猫 5  
「九州北部豪雨」 犬 2

【九州災害時動物救援センター】

大分県玖珠郡九重町湯坪1625番地  
TEL 0973-79-2741 FAX 0973-79-3657

【(一社)九州動物福祉協会 事務局】

福岡県福岡市中央区渡辺通5-2-25 7F  
TEL 092-713-0101